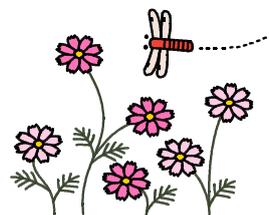


学校だより



爽やかな秋になりました

2学期も当分の間は熱中症に警戒しないといけないと思っていましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉どおり、朝晩はとても涼しくなり、日中もかなり過ごしやすくなってきました。澄み切った青い空、木の葉の色、キンモクセイの香り、心地良い爽やかな風、虫の合奏など、五感で自然の変化を楽しむことができ、運動・勉強・読書にも最適な季節になりました。



児童一人一人にとって実りの多い秋になるよう、生活面でも学習面でも指導や支援を充実させていきたいと思っています。ご家庭でも、お子様との対話やふれ合いをしっかりといただき、より良い成長のために適切なアドバイスやご指導を今後ともよろしくお願ひします。

新型コロナウイルスへの感染者が減少し、全国各地に出ていた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は9月末で解除されますが、油断は禁物です。引き続き学校では、感染拡大防止対策を継続していきます。ご家庭でも同様によろしくお願ひします。

相手のこと、みんなのことを考えて行動する

一斉下校時に、1年生が忘れ物をしたことを知ると、代わりに学校まで取りに来てくれた子ども、掃除時間に担当場所の隅々までいつも一生懸命に掃除をしている子ども、荒れた運動場を進んで整地してくれている子ども。そんな姿を見ると、とても心が温かくなります。



また、地域の高齢者の方を喜ばせようと、敬老の日に向けて心を込めて手紙を書いている子どもたち、登下校の「見守り隊」の方々への感謝の気持ちが伝わるような挨拶を頑張っている子どもたちの様子を見ると、大変うれしく思います。

相手のことやみんなのことを考えて行動する子どもたちがどんどん増えてきているのは、保護者の皆様の適切なご指導や地域の方々からの温かいご支援のお陰だと心から感謝しています。鴨西っ子が更により良く成長するために、今後もよろしくお願ひします。

あさくち教育週間

浅口市では、11月1日の「おかやま教育の日」を前に、学校の教育活動を公開する「あさくち教育週間」を行っています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、中止にしましたが、本年度は、実施する方向で進めています。

10月25日(月)～10月29日(金)の「あさくち教育週間」の期間に都合がつく方は、お子様の学習や生活の様子を自由に参観いただいて構いません。公開時間や駐車場等につきましては、後日配付する文書でご確認ください。また、10月30日(土)には、運動会を開催いたしますので、ご家族の皆様でぜひご観覧ください。

なお、子どもたちの生活や学習の様子は、鴨方西小学校のホームページにブログを随時掲載していますのでご覧ください。



【我慢と辛抱】

コロナ禍の中、我慢の生活が続いていますが、「我慢」と「辛抱」とはどう違うのか調べてみました。

「我慢」は、「欲望や苦しさ・辛さなどを短期的に耐えること(ネガティブ)」、「辛抱」は、「苦しい状況に対して、長期的に耐えること(ポジティブ)」だそうです。つまり両者の違いを簡単に言うと、「長期的にポジティブに耐えるのが辛抱」「短期的にネガティブに耐えるのが我慢」ということとなります。別の言い方をするなら、【「辛抱」はいつか実を結ぶもの、「我慢」はいずれ爆発するもの】とも言えるでしょう。「辛抱」は、「世のため・人のために頑張る」のようにポジティブではっきりとした目的があります。したがって、長期的に耐えていればいずれは報われる行為なのです。一方で、「我慢」は、「早く欲望を満たしたい・早くその場から逃げ出したい」などその人本来のネガティブな感情があります。そのため、「我慢」の方は周りのためというよりは、自分のために一時的に耐えるというイメージになるようです。

以上のことから考えると、「我慢」よりも「辛抱」の方が、より精神的なことを耐える時に使うということが分かります。コロナ禍で求められるのは、「我慢」ではなく、「辛抱」なのです。

